

# I 洲本市財政事情（令和2年6月30日現在）

## (1) 収入及び支出の概況（一般会計及び特別会計の執行状況）

（単位：千円、％）

会 計 名	予算現額	収入済額	収入率	支出済額	支出率	
一般会計	30,967,750	11,030,667	35.6	9,078,778	29.3	
国民健康保険	事業勘定	5,505,504	500,863	9.1	381,497	6.9
	直営診療施設勘定	360,000	16,667	4.6	78,251	21.7
由良財産区	1,070	273	25.5	0	0.0	
納、鮎屋財産区	70	3	4.3	0	0.0	
堺財産区	322	144	44.7	0	0.0	
CATV事業	1,394,000	206,441	14.8	139,908	10.0	
介護保険	事業勘定	5,126,000	768,859	15.0	865,629	16.9
	介護サービス事業勘定	131,200	4,752	3.6	28,653	21.8
後期高齢者医療	783,700	70,807	9.0	65,991	8.4	

## (2) 住民の負担の状況

（単位：円）

区 分	一人当たり支出額
議会費	4,186
総務費	230,376
民生費	180,609
衛生費	35,859
労働費	609
農林水産業費	29,177
商工費	22,723

（単位：円）

区 分	一人当たり支出額
土木費	53,811
消防費	21,873
教育費	51,217
災害復旧費	350
公債費	90,435
その他	466
合 計	721,691

※上記の額は、現計予算額を令和2年6月30日現在の住民基本台帳人口42,910人で割った額。

## (3) 公営事業の経理の概況

（単位：千円、％）

会 計 名	収入予算現額	収入済額	収入率	支出予算現額	支出済額	支出率	
介護サービス事業	収益的収入及び支出	129,318	4,100	3.2	133,838	10,375	7.8
	資本的収入及び支出	55,000	0	0.0	60,908	0	0.0
駐車場事業	収益的収入及び支出	48,436	3,969	8.2	47,397	6,160	13.0
下水道事業	収益的収入及び支出	1,092,631	391,758	35.9	1,103,975	50,729	4.6
	資本的収入及び支出	1,998,674	0	0.0	2,427,614	258,451	10.6
土地取得造成事業	収益的収入及び支出	826,937	3,772	0.5	886,391	3,766	0.4
	資本的収入及び支出	10,000	0	0.0	524,762	0	0.0

## (4) 財産、公債及び一時借入金の現在高

(ア) 市有財産（主なもの）

（単位：㎡、千円）

区 分	種 別	数量又は金額
土地及び建物	宅地	1,703,527.95
	山林	2,682,399.85
	その他土地	1,319,038.23
	建物	278,814.51
有価証券	株券	489,500
債権	貸付金等	8,050
出資による権利	出資金	3,620,596
基金		6,757,882

(イ) 市債現在高

（単位：千円）

会 計 名	現 在 高
一般会計	28,540,802
特別会計	1,345,929
国民健康保険	31,705
CATV事業	1,314,224
企業会計	12,145,421
介護サービス事業	110,792
下水道事業	12,034,629
合 計	42,032,152

(ウ) 一時借入金現在高

（単位：千円）

借 入 先	現 在 高
-	-

## II 令和元年度決算概要

### (1) 一般会計について

#### ① 決算規模

国保診療所への直診勘定繰出金の減や認定こども園整備事業の完了により民生費は減少したものの、ふるさと納税に係る基金積立金や事務事業費の増による総務費の増加などにより、決算規模は対前年度3.0%増(7億39百万円増)の252億66百万円となった。

{	歳入 : 25,607,269千円 (対前年度: +683,461千円、102.7%)	}
	歳出 : 25,266,492千円 (対前年度: +739,404千円、103.0%)	

#### ② 決算収支

実質収支は昨年度に引き続き黒字、実質単年度収支は財政調整基金の取り崩しなどにより赤字となった。

#### 【一般会計決算収支の状況】

(単位:千円、%)

区 分	令和元年度 a	平成30年度 b	a-b	a/b
歳入総額 A	25,607,269	24,923,808	683,461	102.7
歳出総額 B	25,266,492	24,527,088	739,404	103.0
形式収支 (A-B) = C	340,777	396,720	△ 55,943	85.9
翌年度繰越財源 D	68,580	166,755	△ 98,175	41.1
実質収支 (C-D) = E	272,197	229,965	42,232	118.4
単年度収支 F	42,232	△ 123,510	165,742	△ 34.2
財政調整基金積立金 G	150,854	195,547	△ 44,693	77.1
繰上償還金 H	33,896	210,000	△ 176,104	16.1
財政調整基金取崩額 I	350,000	580,000	△ 230,000	60.3
実質単年度収支 (F+G+H-I)	△ 123,018	△ 297,963	174,945	41.3

③歳入

【歳入の内訳】

(単位:千円、%)

科 目	令和元年度 a	構成比	平成30年度 b	構成比	a-b	a/b
10 市 税	5,949,542	23.2	6,015,498	24.1	△ 65,956	98.9
15 地 方 譲 与 税	180,083	0.7	179,778	0.7	305	100.2
20 利 子 割 交 付 金	5,480	0.0	10,553	0.0	△ 5,073	51.9
22 配 当 割 交 付 金	35,487	0.1	31,639	0.1	3,848	112.2
23 株式等譲渡所得割交付金	19,011	0.1	25,121	0.1	△ 6,110	75.7
25 ゴルフ場利用税交付金	27,845	0.1	27,790	0.1	55	100.2
28 地 方 消 費 税 交 付 金	771,705	3.0	801,427	3.2	△ 29,722	96.3
35 自 動 車 取 得 税 交 付 金	37,307	0.2	79,265	0.3	△ 41,958	47.1
36 環 境 性 能 割 交 付 金	10,507	0.0	0	0.0	10,507	皆増
38 地 方 特 例 交 付 金	27,819	0.1	16,354	0.1	11,465	170.1
40 地 方 交 付 税	6,373,565	24.9	6,534,961	26.2	△ 161,396	97.5
45 交通安全対策特別交付金	6,100	0.0	6,190	0.0	△ 90	98.5
50 分 担 金 及 び 負 担 金	68,340	0.3	64,427	0.3	3,913	106.1
55 使 用 料 及 び 手 数 料	686,490	2.7	714,194	2.9	△ 27,704	96.1
60 国 庫 支 出 金	2,403,444	9.4	2,346,985	9.4	56,459	102.4
65 県 支 出 金	2,050,037	8.0	1,540,364	6.2	509,673	133.1
70 財 産 収 入	107,355	0.4	80,823	0.3	26,532	132.8
75 寄 附 金	2,401,695	9.4	1,402,100	5.7	999,595	171.3
80 繰 入 金	2,095,113	8.2	1,894,275	7.6	200,838	110.6
85 繰 越 金	396,720	1.6	464,958	1.9	△ 68,238	85.3
90 諸 収 入	464,177	1.8	542,560	2.2	△ 78,383	85.6
95 市 債	1,489,447	5.8	2,144,546	8.6	△ 655,099	69.5
合 計	25,607,269	100.0	24,923,808	100.0	683,461	102.7

④歳出

【歳出の内訳】

(単位:千円、%)

科	目	令和元年度 a	構成比	平成30年度 b	構成比	a-b	a/b
10	議会費	192,549	0.8	193,863	0.8	△ 1,314	99.3
15	総務費	6,480,982	25.6	4,953,853	20.2	1,527,129	130.8
20	民生費	7,245,702	28.7	8,201,676	33.4	△ 955,974	88.3
25	衛生費	1,379,180	5.5	1,379,598	5.6	△ 418	100.0
30	労働費	26,675	0.1	28,426	0.1	△ 1,751	93.8
35	農林水産業費	1,382,795	5.5	1,129,266	4.6	253,529	122.5
40	商工費	432,460	1.7	488,189	2.0	△ 55,729	88.6
45	土木費	1,698,443	6.7	1,513,973	6.2	184,470	112.2
50	消防費	812,145	3.2	778,854	3.2	33,291	104.3
55	教育費	1,854,432	7.3	1,657,747	6.8	196,685	111.9
60	災害復旧費	330,253	1.3	338,421	1.4	△ 8,168	97.6
65	公債費	3,430,876	13.6	3,863,174	15.7	△ 432,298	88.8
70	諸支出金	0	0.0	48	0.0	△ 48	皆減
合計		25,266,492	100.0	24,527,088	100.0	739,404	103.0

【性質別(歳出)の状況】

(単位:千円、%)

科	目	令和元年度 a	構成比	平成30年度 b	構成比	a-b	a/b
義務的経費		10,652,056	42.2	10,862,894	44.3	△ 210,838	98.1
	人件費	3,605,017	14.3	3,542,552	14.4	62,465	101.8
	扶助費	3,614,253	14.3	3,454,871	14.1	159,382	104.6
	公債費	3,432,786	13.6	3,865,471	15.8	△ 432,685	88.8
その他経費		7,045,694	27.9	6,611,014	26.9	434,680	106.6
	補助費	3,116,794	12.3	3,152,619	12.9	△ 35,825	98.9
	物件費、維持補修費	3,928,900	15.6	3,458,395	14.0	470,505	113.6
投資的経費		2,288,116	9.1	2,314,870	9.4	△ 26,754	98.8
	普通建設費	1,956,797	7.8	1,980,088	8.1	△ 23,291	98.8
	災害復旧費	331,319	1.3	334,782	1.3	△ 3,463	99.0
投資及び出資金、貸付金		9,700	0.0	12,284	0.1	△ 2,584	79.0
繰出金		2,588,550	10.2	3,036,417	12.4	△ 447,867	85.3
財政調整基金等積立金		2,682,376	10.6	1,689,609	6.9	992,767	158.8
合計		25,266,492	100.0	24,527,088	100.0	739,404	103.0

(2)特別会計について

○決算規模

〔 歳入：12,669,558千円（対前年度：△968,121千円、92.9%）  
 歳出：12,510,870千円（対前年度：△854,268千円、93.6%） 〕

【特別会計決算収支の状況】

(単位:千円)

区 分	歳 入			歳 出			形式収支 (a-c) e	翌年度 繰越財源 f	実質収支 (e-f)	
	令和元年度 a	平成30年度 b	a/b	令和元年度 c	平成30年度 d	c/d				
国民健康保険	事業勘定	5,414,617	5,941,426	91.1	5,315,730	5,821,456	91.3	98,887	0	98,887
	直営診療施設勘定	430,251	986,395	43.6	430,251	986,395	43.6	0	0	0
由良財産区	939	939	100.0	939	939	100.0	0	0	0	0
納、鮎屋財産区	66	66	100.0	66	66	100.0	0	0	0	0
堺財産区	364	522	69.7	243	480	50.6	121	0	121	121
CATV事業	711,497	719,574	98.9	710,697	719,574	98.8	800	800	0	0
介護保険	事業勘定	5,228,702	5,120,456	102.1	5,186,663	4,984,914	104.0	42,039	0	42,039
	介護サービス事業勘定	129,277	133,238	97.0	129,277	133,223	97.0	0	0	0
後期高齢者医療	753,845	735,063	102.6	737,004	718,091	102.6	16,841	0	16,841	16,841
合 計	12,669,558	13,637,679	92.9	12,510,870	13,365,138	93.6	158,688	800	157,888	157,888

(3) 公営企業会計について

【公営企業会計決算収支の状況】

(税込、単位：千円)

会 計	区 分	収 入			支 出			地方公営企業法 第26条の規定に よる繰越額
		令和元年度 a	平成30年度 b	a/b	令和元年度 c	平成30年度 d	c/d	
介護サービス事業	収益的収支	114,843	154,437	74.4	131,179	138,998	94.4	0
	資本的収支	13,057	17,884	73.0	13,375	18,066	74.0	0
駐車場事業	収益的収支	45,268	49,264	91.9	37,580	41,054	91.5	0
	資本的収支	—	—	—	—	—	—	—
下水道事業	収益的収支	1,147,440	1,116,472	102.8	1,100,723	1,115,059	98.7	0
	資本的収支	1,395,712	1,199,455	116.4	1,859,296	1,742,298	106.7	429,505
土地取得造成事業	収益的収支	11,324	11,239	100.8	57,468	61,676	93.2	0
	資本的収支	0	360,000	皆減	43,677	25,711	169.9	513,000
合 計		2,727,644	2,908,751	93.8	3,243,298	3,142,862	103.2	942,505

(3) 健全化判断比率について

①実質赤字比率、連結実質赤字比率は発生せず、いずれも黒字となった。

②実質公債費比率(平成29年度～令和元年度の3ヵ年平均)は、前年度より0.3%改善し、14.8%となった。昨年度に引き続き、地方債の発行に当たり都道府県知事の許可を要する団体の基準値(18%)を下回った。

③将来負担比率は、繰上償還による地方債残高の減少などから、前年度より20.9%改善し、95.9%となった。

【健全化判断比率の状況】

(単位:%)

財政指標	平成29年度	平成30年度 ①	令和元年度 ②	②-①	早期健全化 基 準	財政再生 基 準	財政指標の概要
実質赤字比率	—	—	—	—	12.97	20.0	一般会計等を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率
連結実質赤字比率	—	—	—	—	17.97	30.0	全会計を対象とした実質赤字(又は資金の不足額)の標準財政規模に対する比率
実質公債費比率	14.9	15.1	14.8	△0.3	25.0	35.0	一般会計等が負担する元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模に対する比率の過去3ヵ年の平均値
将来負担比率	128.4	116.8	95.9	△20.9	350.0		一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率

【参 考】

区 分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
単 年 度 実質公債費比率	13.6	14.9	16.2	14.2	14.2